

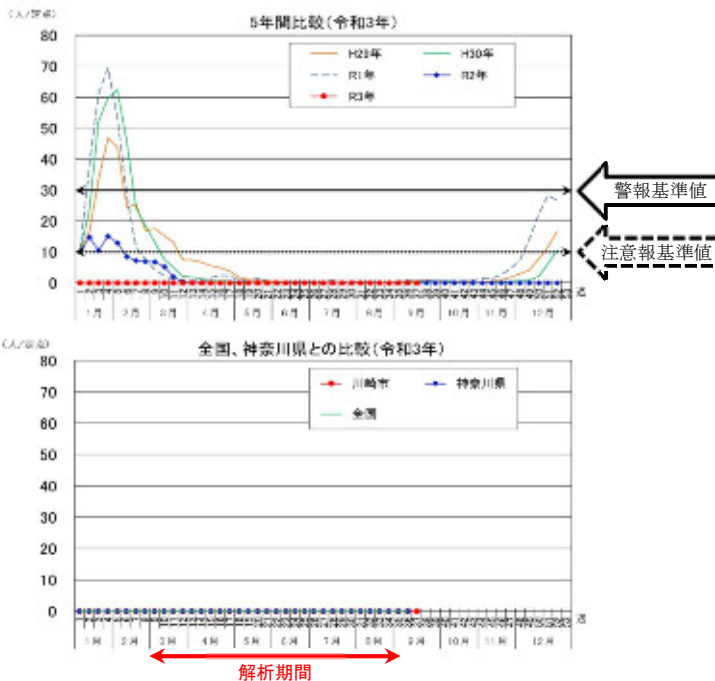
# 定点把握疾患の届出状況(令和3年3月~8月)

## <インフルエンザ定点対象疾患>

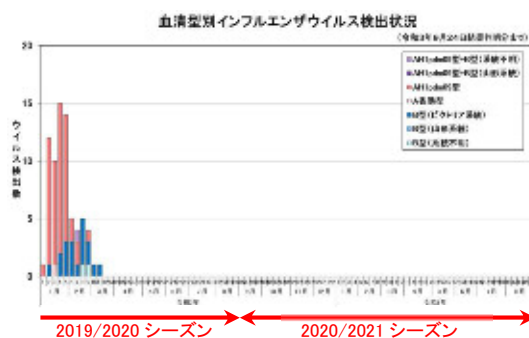
インフルエンザ(警報基準値:定点当たり30人、注意報基準値:定点当たり10人)

### 【川崎市】

今期(令和3年3月~8月)は定点当たり0.0006人の報告となり、極めて低いレベル(過去5年平均の報告数の0.0004倍)で推移しました。2020/2021シーズンは、令和2年第53週及び令和3年第2週に各2件、令和2年第42週、令和3年第3週、第5週及び第11週に各1件の報告がありました。なお、流行開始の目安である定点当たり1.00人を超える週はありませんでした。

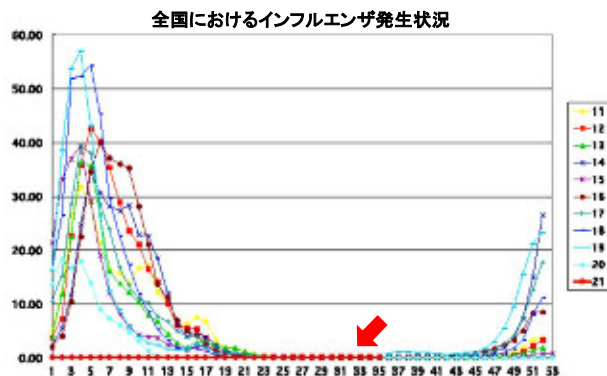


なお、2020/2021シーズンは病原体定点からの検体の提供はありませんでした。



### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

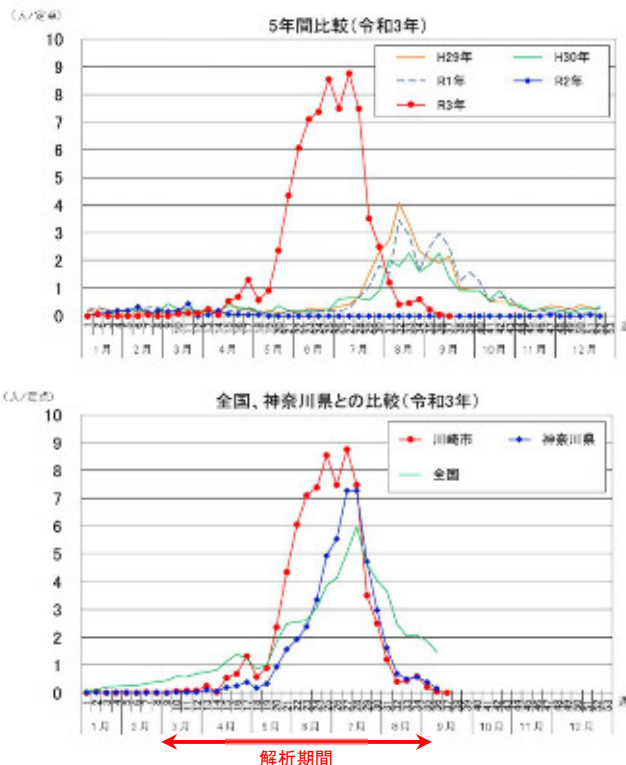


## <小児科定点対象疾患>

### RSウイルス感染症

#### 【川崎市】

今期は定点当たり 2.75 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 5.88 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。5 月中旬以降患者報告数が急増し、第 27 週には定点当たり報告数が 8.76 人となり、平成 15 年のデータ収集開始以降最大の報告数となりました。

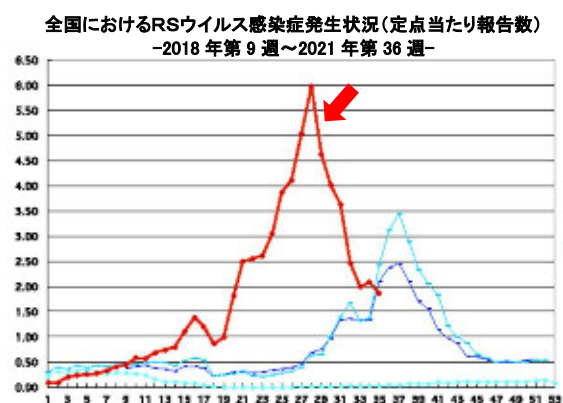
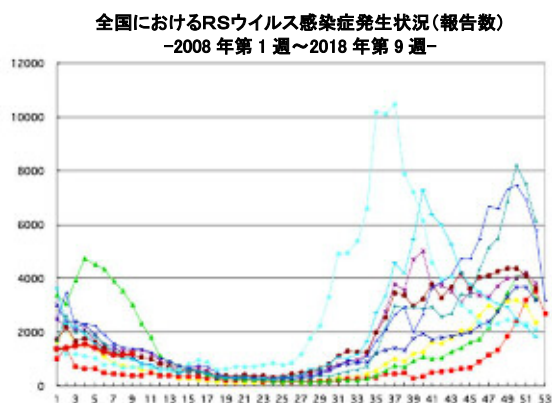


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	9 か月	R3.3.10	鼻腔ぬぐい液	RSウイルス B 型
中原区	男	3	R3.5.7	鼻腔ぬぐい液	RSウイルス B 型
多摩区	女	2	R3.5.18	鼻腔ぬぐい液	RSウイルス B 型
幸区	女	1	R3.5.19	鼻咽頭ぬぐい液	RSウイルス B 型
幸区	男	1	R3.5.25	鼻腔ぬぐい液	RSウイルス B 型
中原区	男	4	R3.6.2	鼻腔ぬぐい液	RSウイルス B 型
中原区	男	2	R3.7.5	鼻腔ぬぐい液	RSウイルス B 型
多摩区	女	2	R3.7.16	鼻腔ぬぐい液	RSウイルス B 型
幸区	男	4	R3.7.16	鼻腔ぬぐい液	ヒトパラインフルエンザウイルス 3 型

#### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり高いレベルで推移しました。



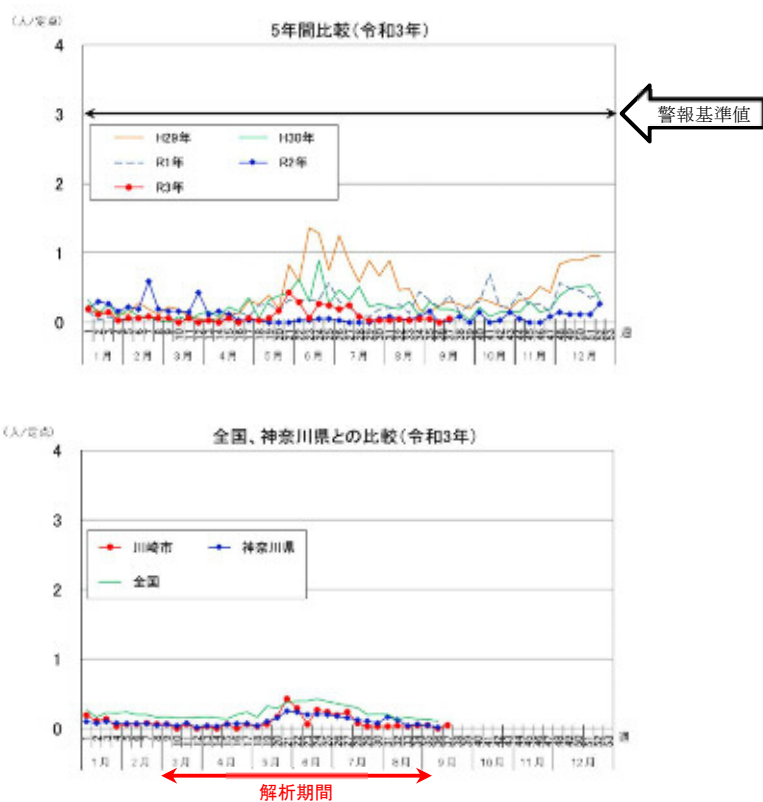
※2018年9週(2月26日~3月4日)から、国立感染症研究所におけるRSウイルス感染症の集計方法が変更となりました。(報告数→定点当たり報告数)

## 咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.10 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.36 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (3) 以上となった週はありませんでした。

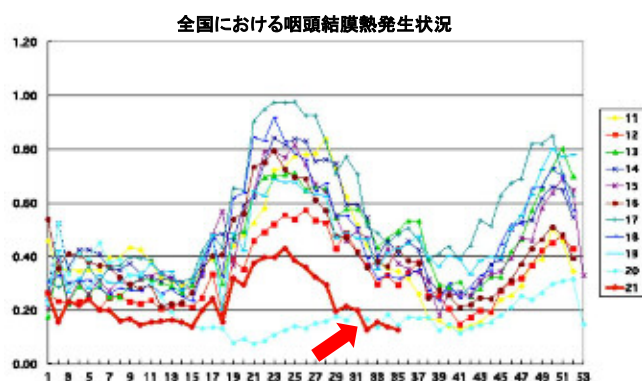


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	女	1	R3.3.5	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 1 型
多摩区	男	4	R3.5.25	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 6 型
中原区	男	1	R3.6.21	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 1 型

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

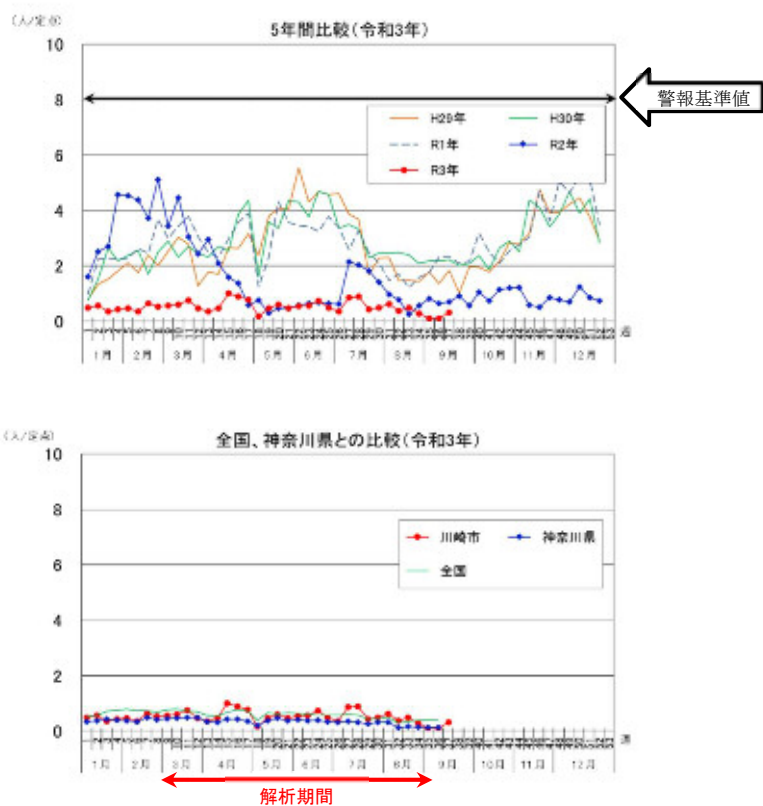


## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.55 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.21 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週はありませんでした。

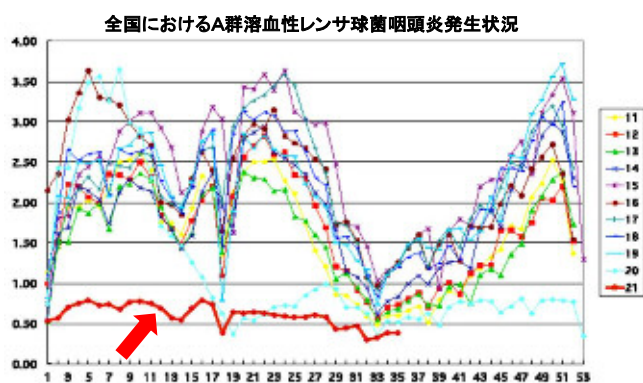


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	2	R3.6.21	咽頭ぬぐい液	不検出

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

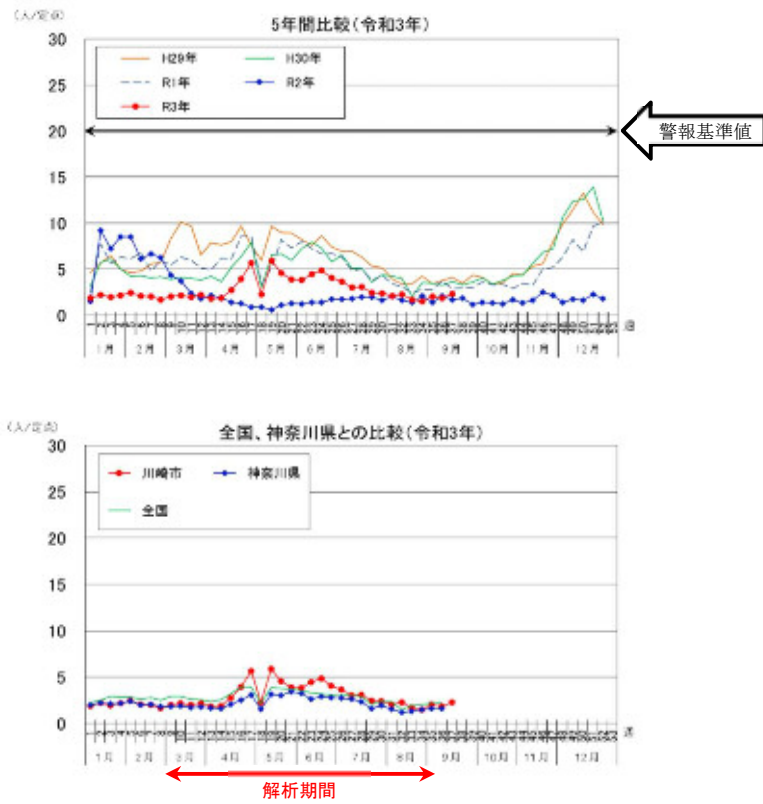


## 感染性胃腸炎(警報基準値:定点当たり 20 人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 3.07 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.60 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

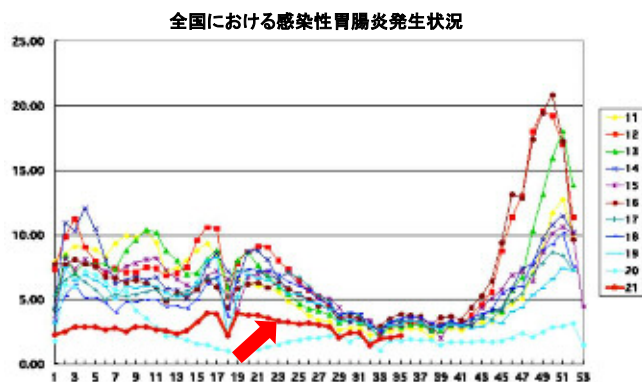
今期、流行発生警報基準値 (20) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

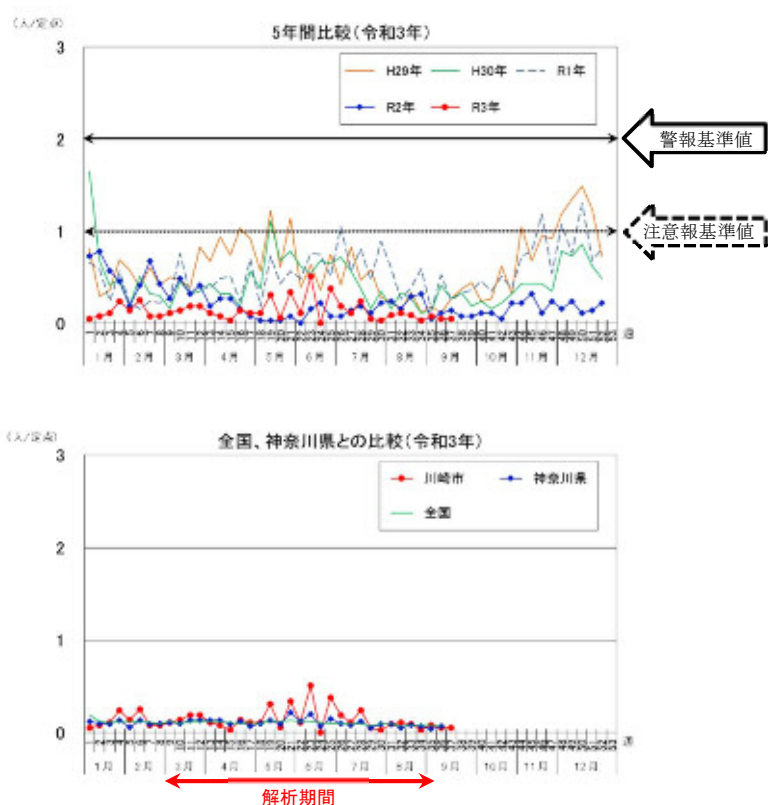


## 水痘(警報基準値:定点当たり2人、注意報基準値:定点当たり1人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.15 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.34 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

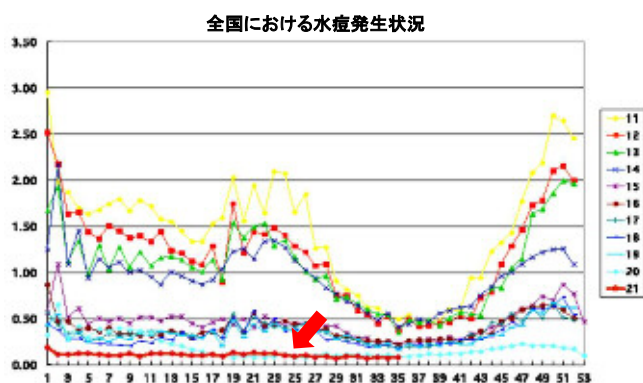
今期、流行発生注意報基準値 (1) 以上となった週は、川崎区で第 11 週 (1.00 人)、麻生区で第 12 週 (1.00 人)、高津区で第 23 週 (1.67 人) でした。また、流行発生警報基準値 (2) 以上となった週は、多摩区で第 21 週 (2.00 人) でした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的には例年よりかなり低いレベルで推移しました。

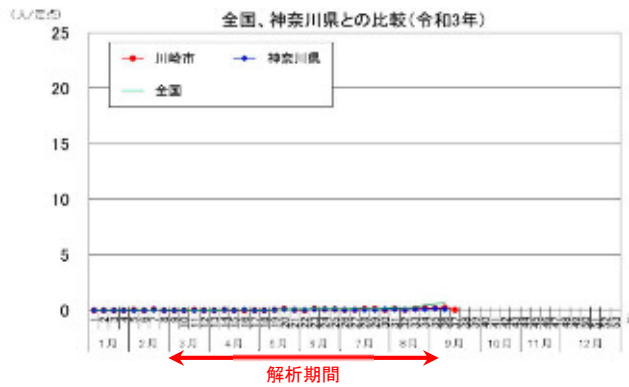
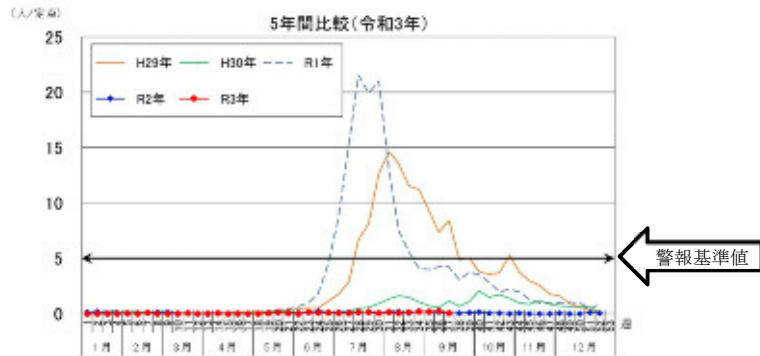


手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.06 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.03 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

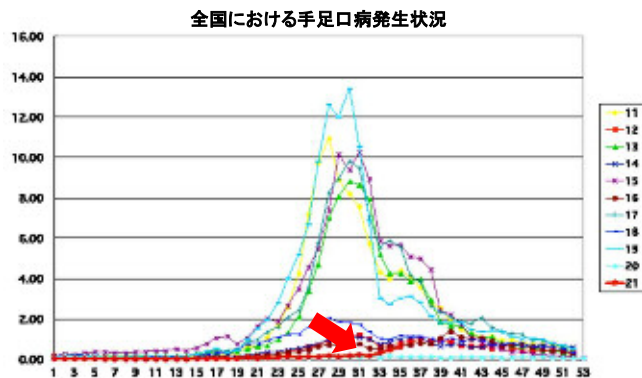
今期、流行発生警報基準値 (5) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

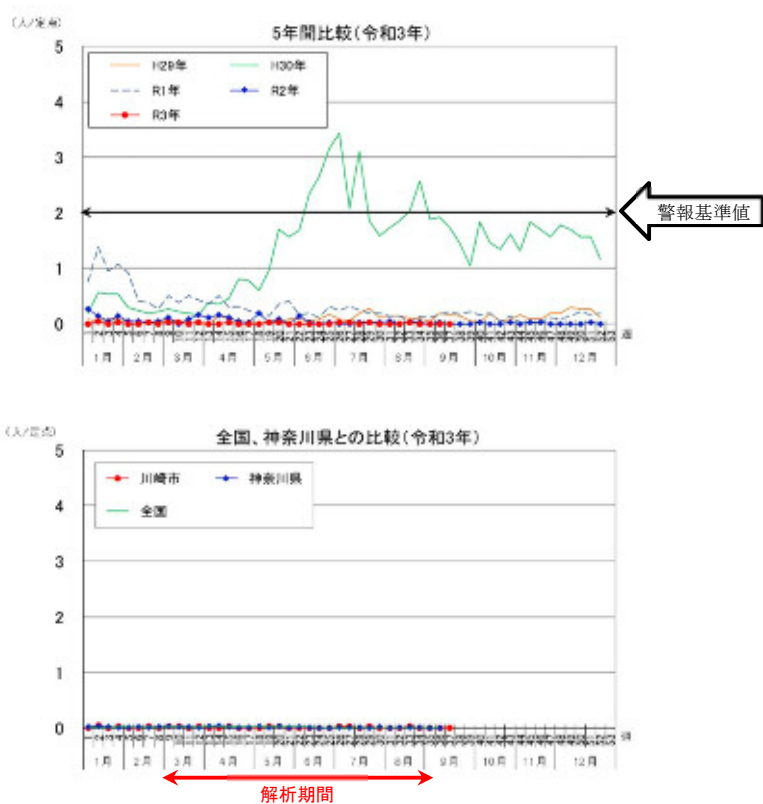


## 伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.01 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.02 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

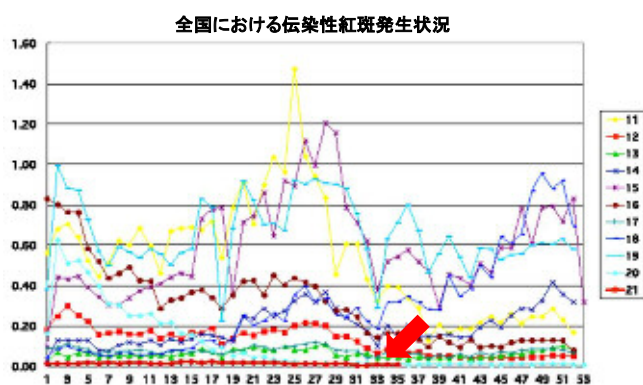
今期、流行発生警報基準値 (2) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



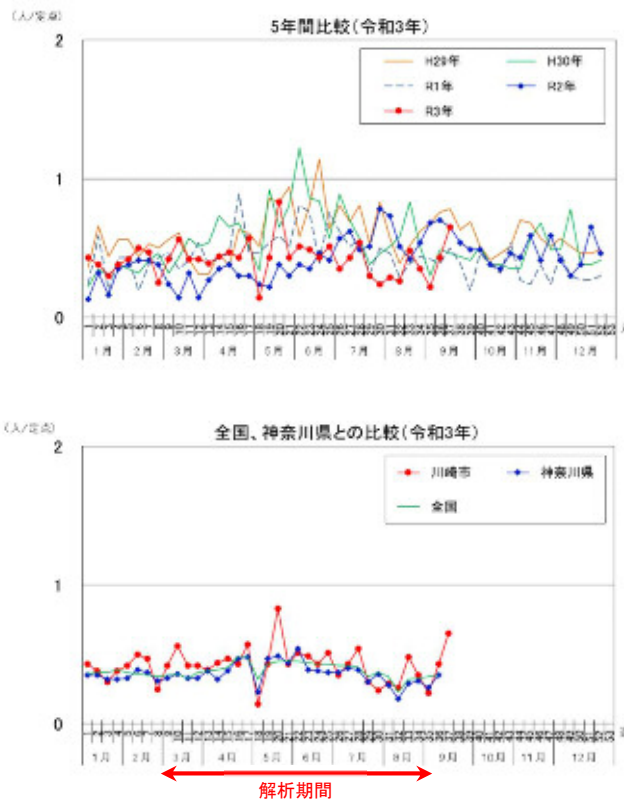


## 突発性発しん

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.42 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.75 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

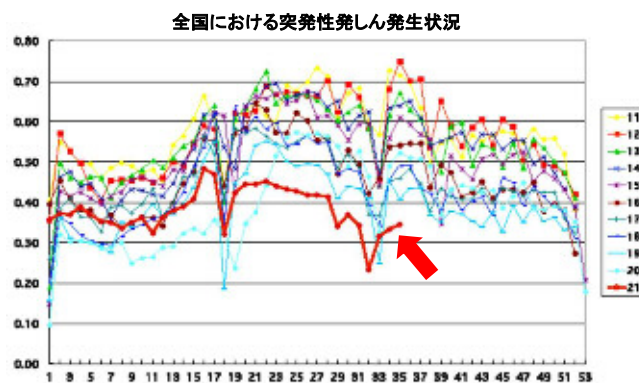
また、年齢階級別では 1 歳以下が 77.9%を占めていました。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

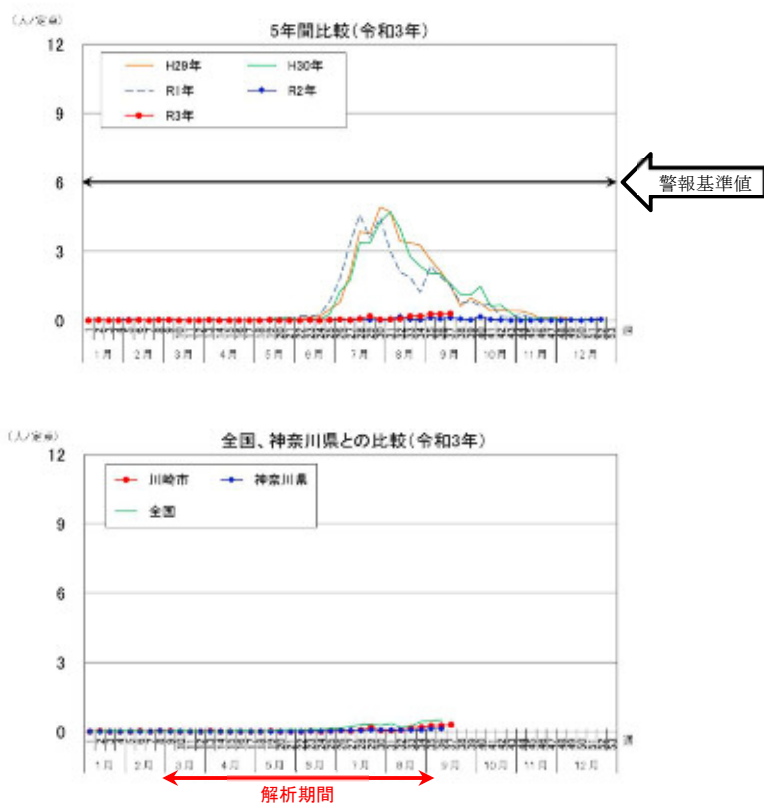


## ヘルパンギーナ(警報基準値:定点当たり6人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.05 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.05 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

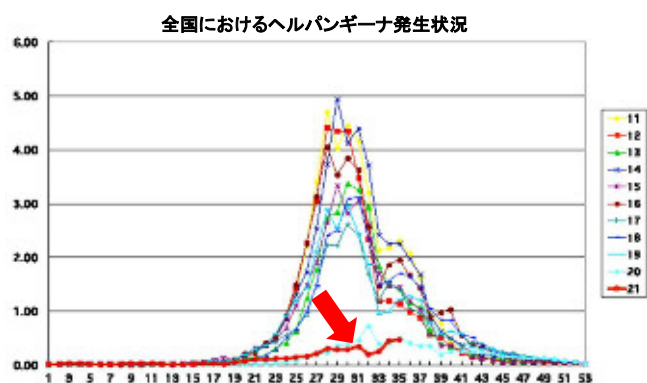
今期、流行発生警報基準値 (6) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

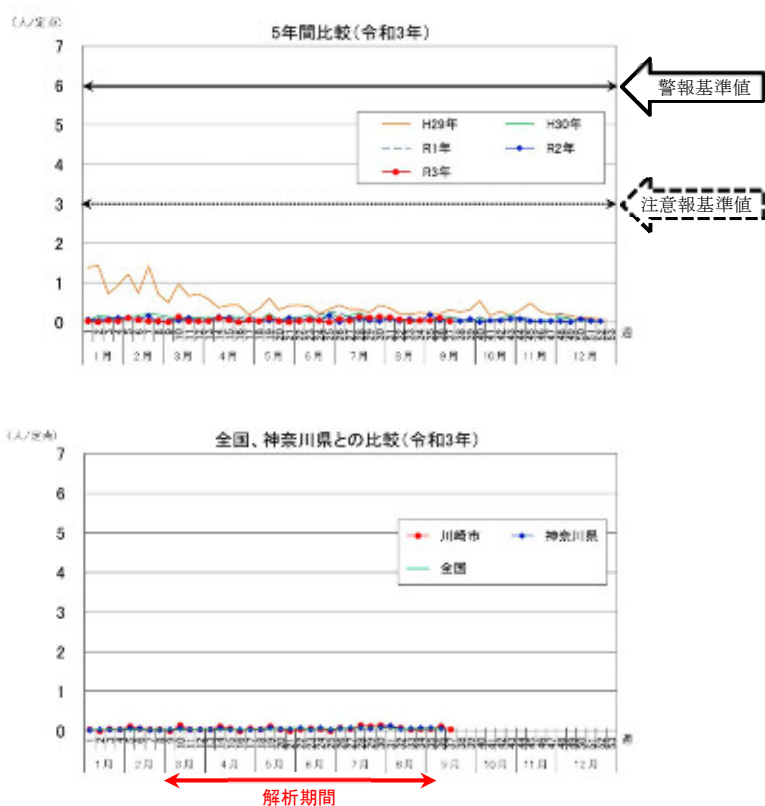


## 流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.06 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.19 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

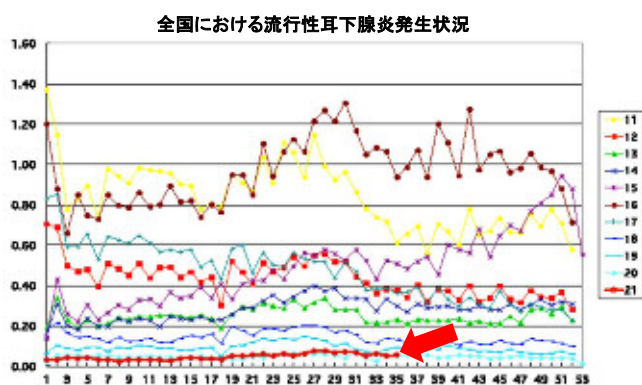
今期、流行発生注意報基準値 (3) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

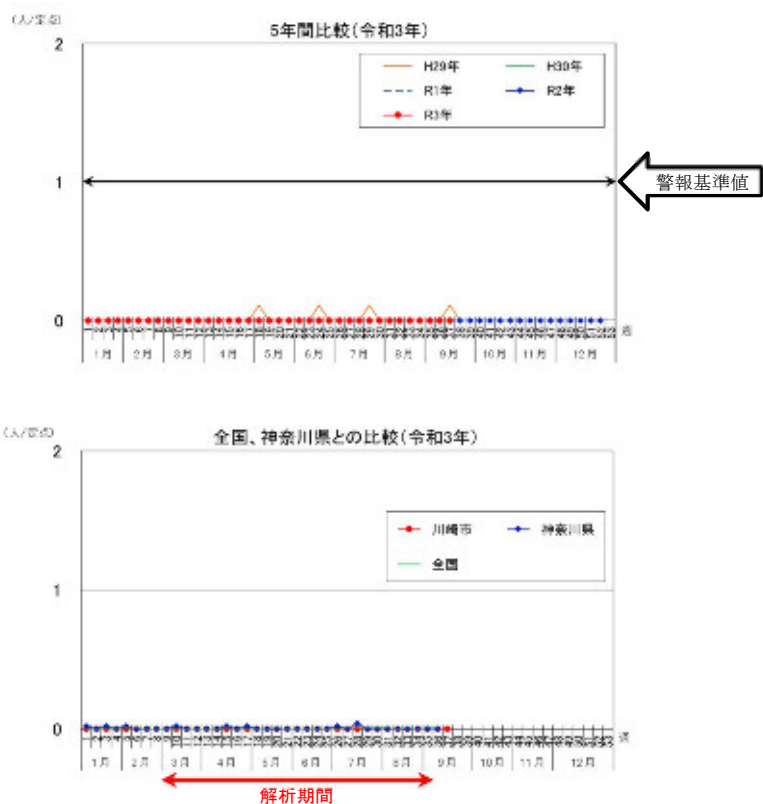


## <眼科定点対象疾患>

急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

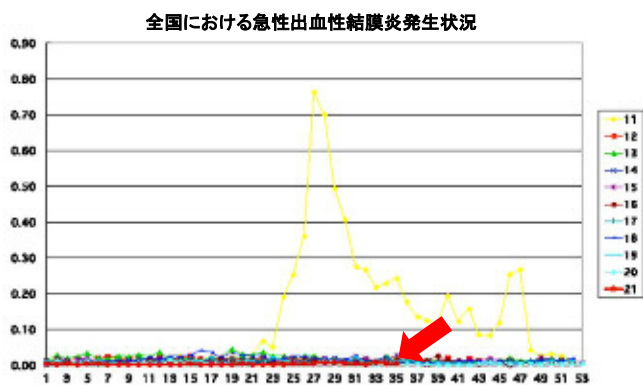
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

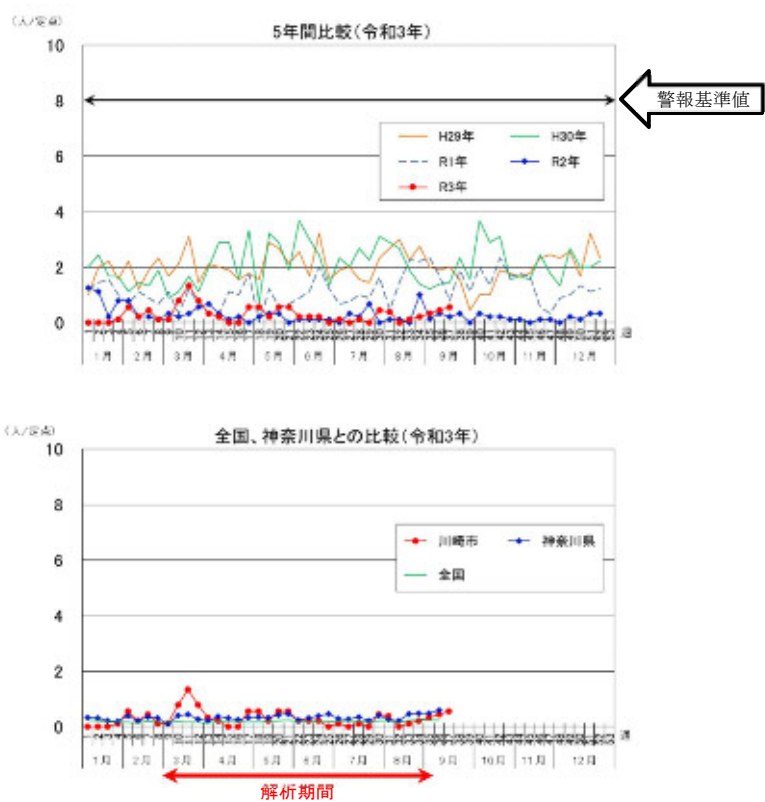


## 流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.32 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.21 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週はありませんでした。

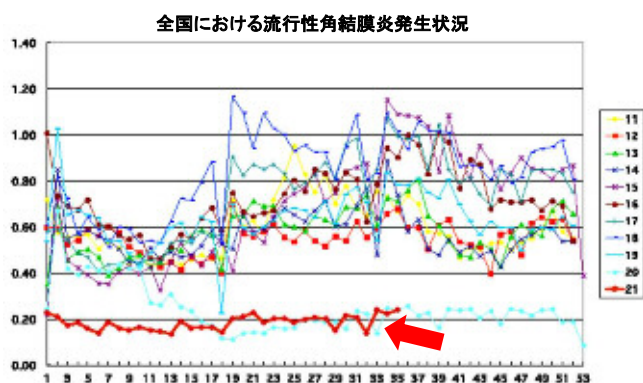


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	23	R3.7.29	眼脂	アデノウイルス 37 型

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

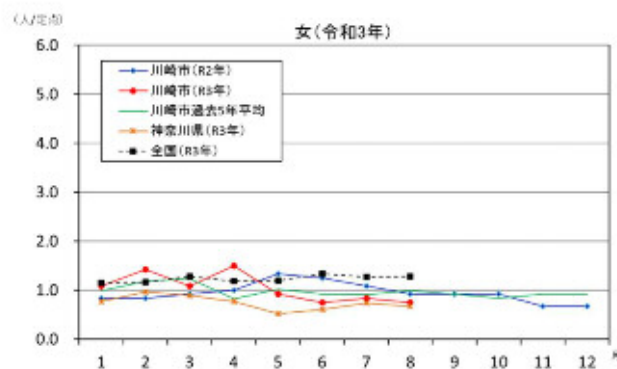
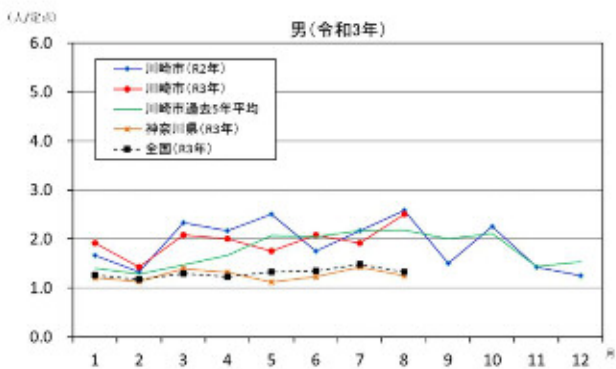
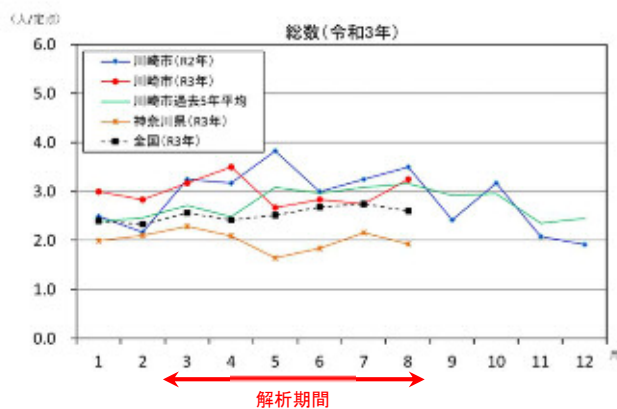


# <性感染症定点対象疾患>

## 性器クラミジア感染症

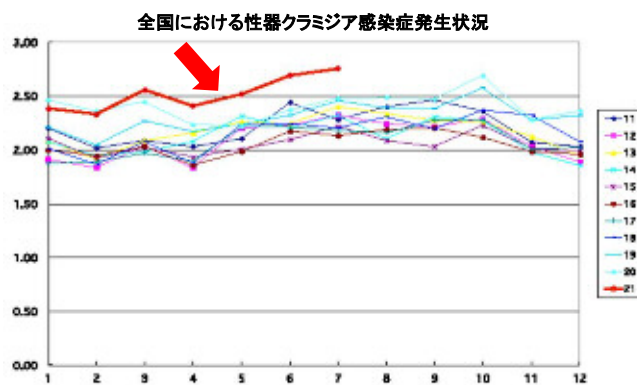
### 【川崎市】

今期は定点当たり 3.03 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.04 倍で、例年並みのレベルで推移しました。特に 4 月は女性の報告数が増加しました。



### 【全国及びその他】

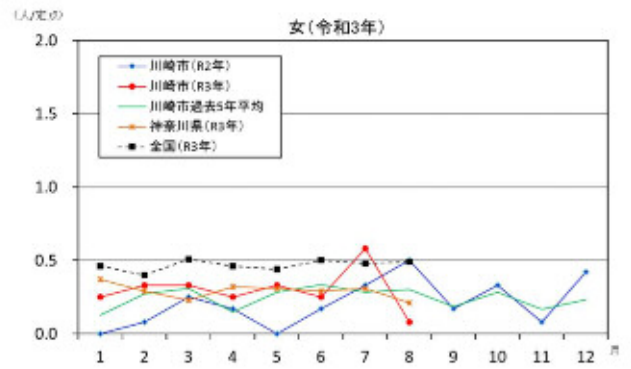
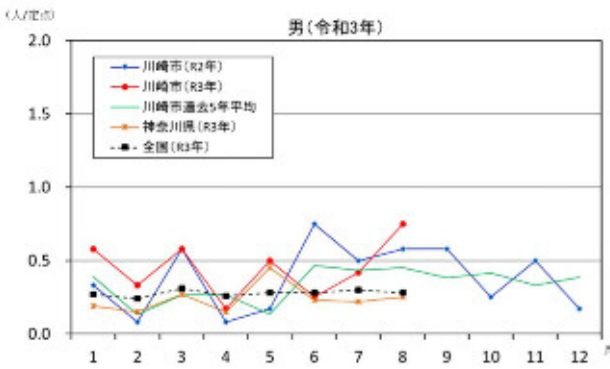
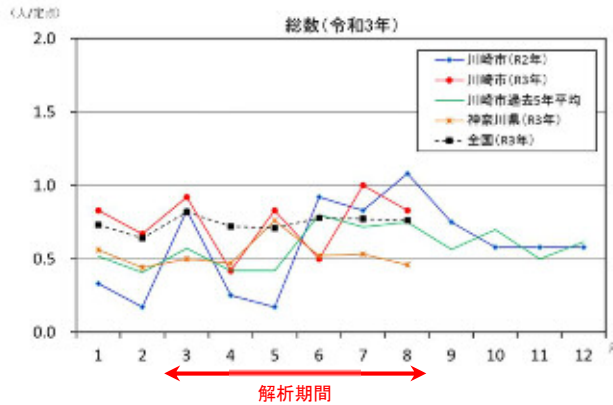
全国的には例年より高いレベルで推移しました。



# 性器ヘルペスウイルス感染症

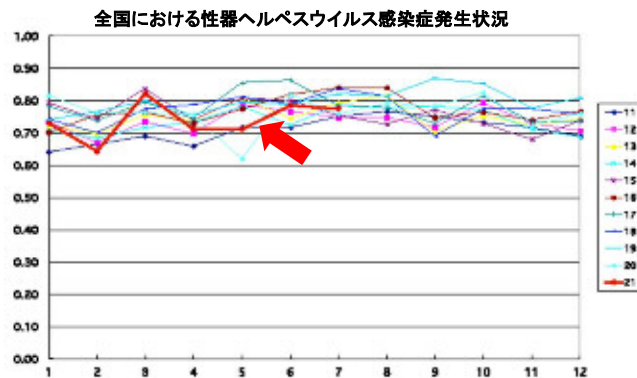
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.75 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.21 倍で、例年並みのレベルで推移しました。男性は 3 月、5 月、7 月及び 8 月、女性は 7 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

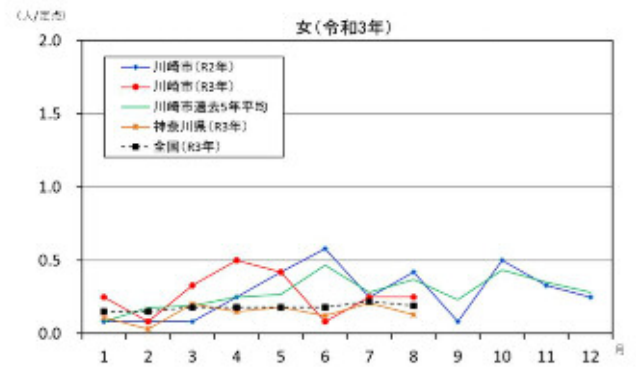
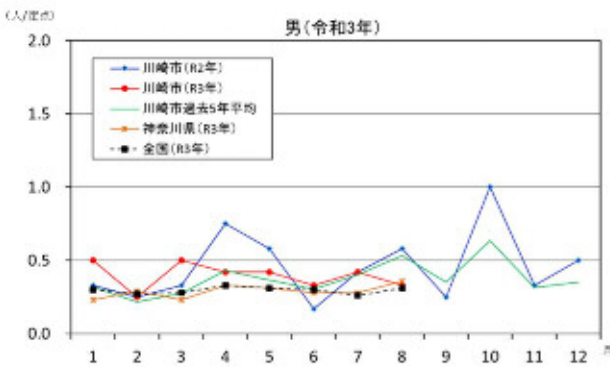
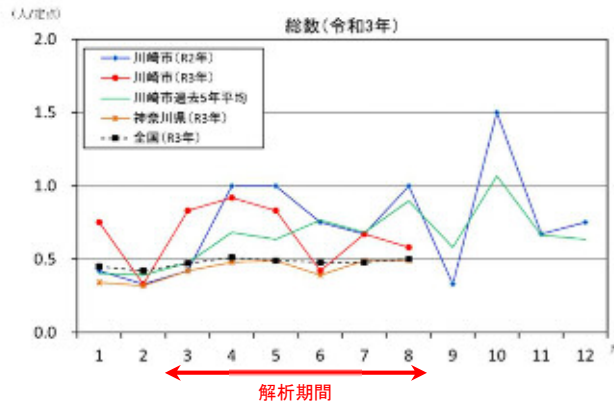
全国的にも例年並みのレベルで推移しました。



# 尖圭コンジローマ

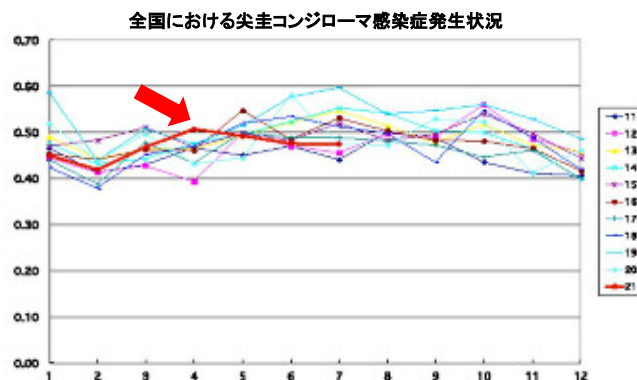
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.71 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.02 倍で、例年並みのレベルで推移しました。男性は 3 月、女性は 3 月から 5 月にかけて報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

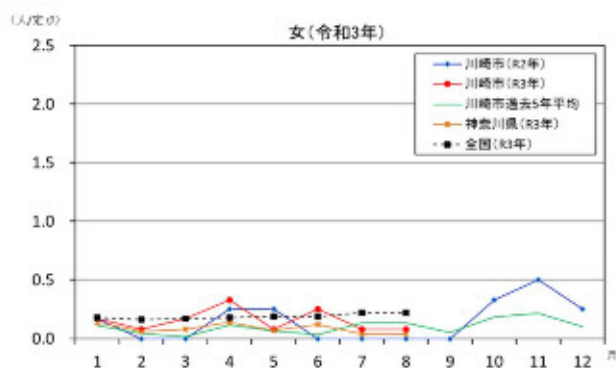
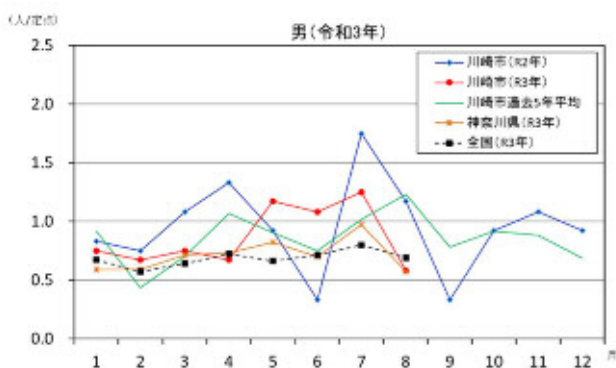
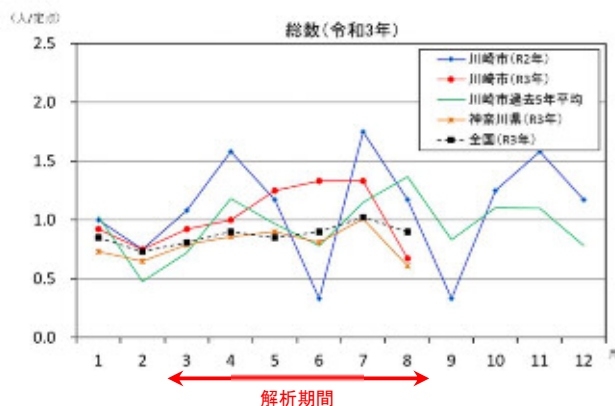




# 淋菌感染症

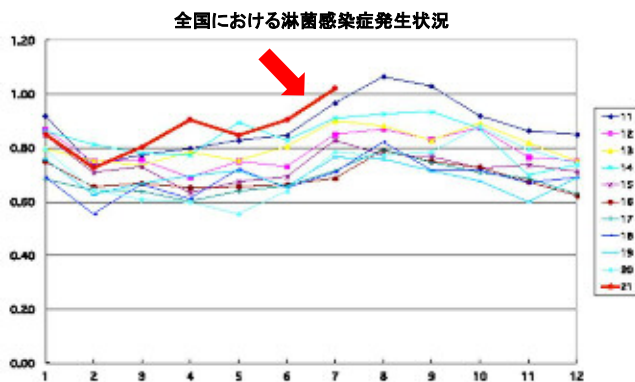
## 【川崎市】

今期は定点当たり 1.08 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.04 倍で、例年並みのレベルで推移しました。特に 5 月から 7 月にかけて男性の報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。

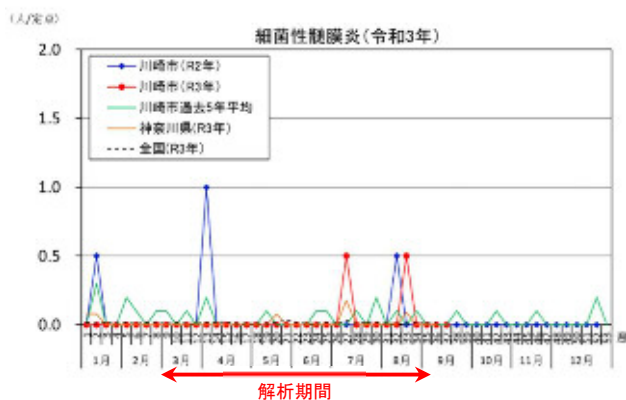


## < 基幹定点対象疾患（週報） >

### 細菌性髄膜炎

#### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.87 倍で、例年並みのレベルで推移しました。第 27 週に 1 件、第 33 週に 1 件の報告がありました。

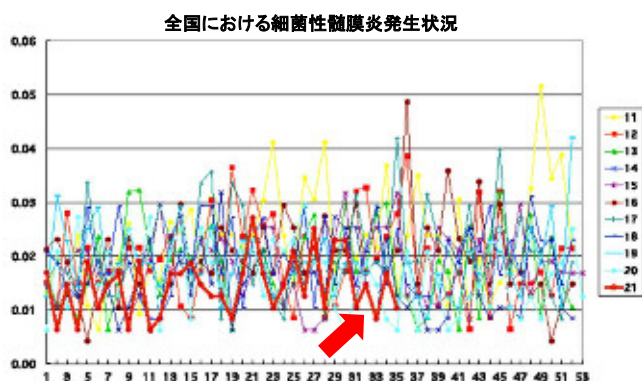


なお、検出された病原菌は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	届出週	検査材料	検査結果
川崎区	女	76	第 27 週	髄液	<i>Enterobacter cloacae</i>
川崎区	男	65	第 33 週	髄液	<i>Staphylococcus aureus</i>

#### 【全国及びその他】

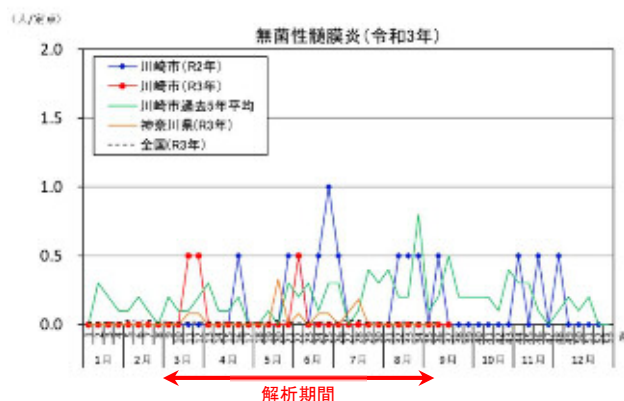
全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。



## 無菌性髄膜炎

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.06 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.30 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

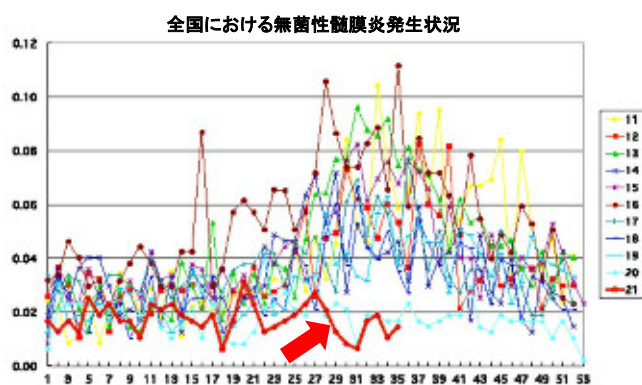


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	女	73	R3.3.4	髄液	陰性
川崎区	女	90	R3.3.24	髄液	陰性
川崎区	男	59	R3.6.1	髄液	水痘・帯状疱疹ウイルス

### 【全国及びその他】

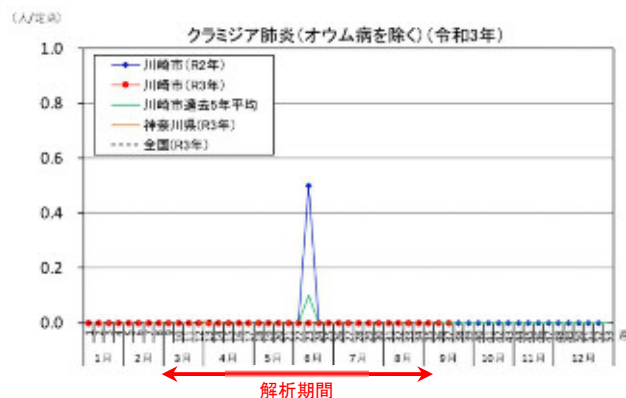
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



## クラミジア肺炎(オウム病を除く)

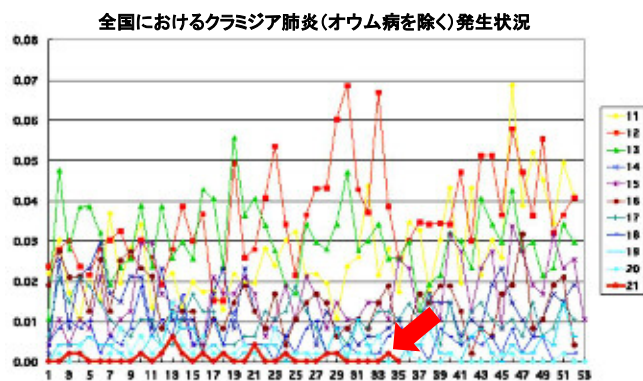
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

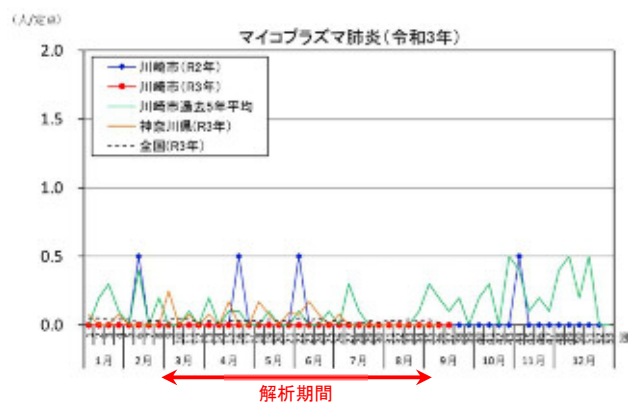
全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



# マイコプラズマ肺炎

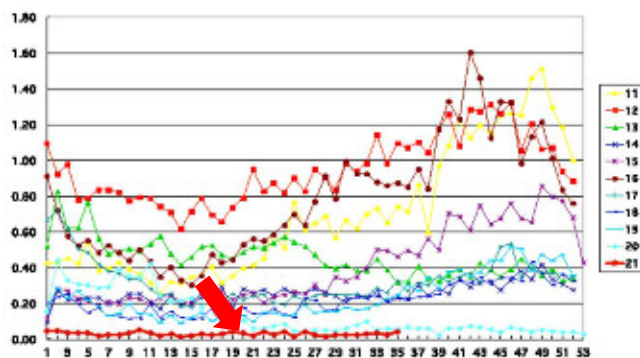
## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

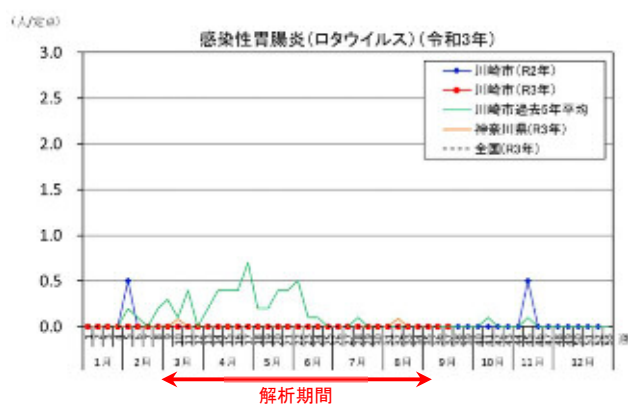
全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



## 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

### 【川崎市】

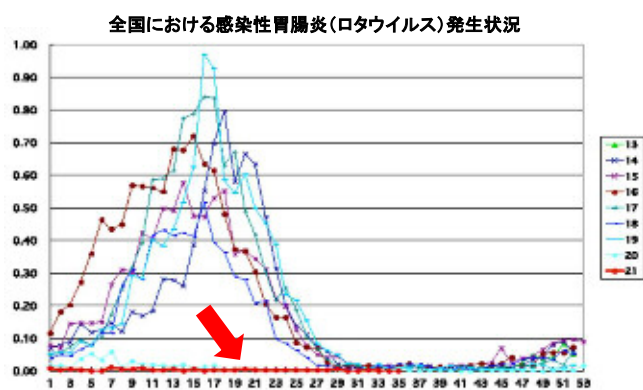
今期は報告がありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

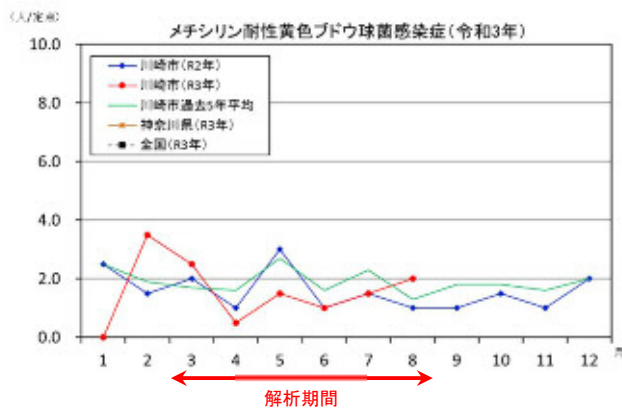


## <基幹定点対象疾患（月報）>

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

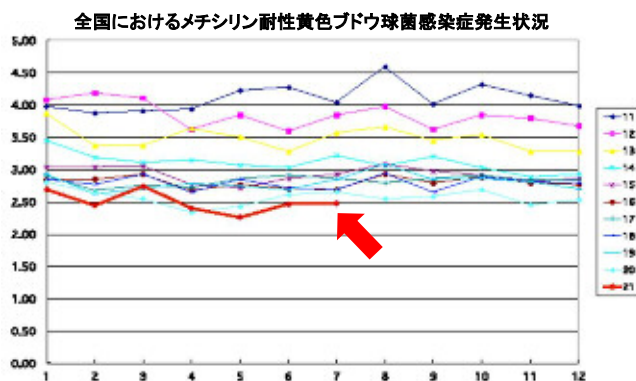
#### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.50 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.80 倍で、例年並みのレベルで推移しました。



#### 【全国及びその他】

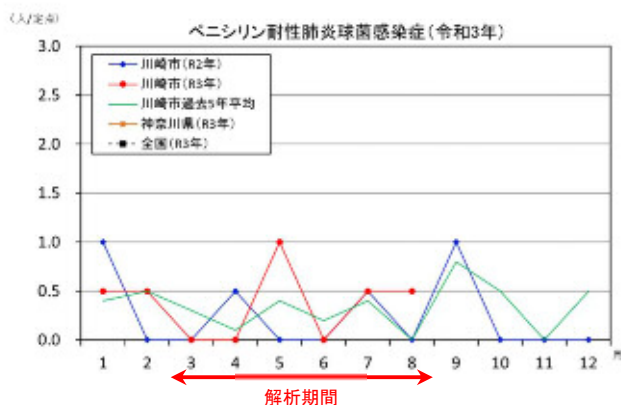
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



## ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

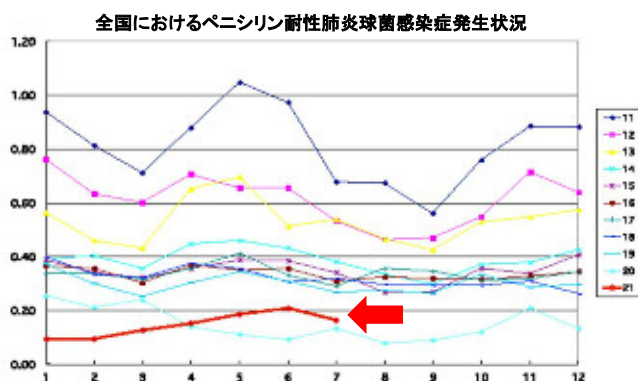
### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.33 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.40 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。5 月に 2 件、7 月及び 8 月に各 1 件の報告がありました。



### 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

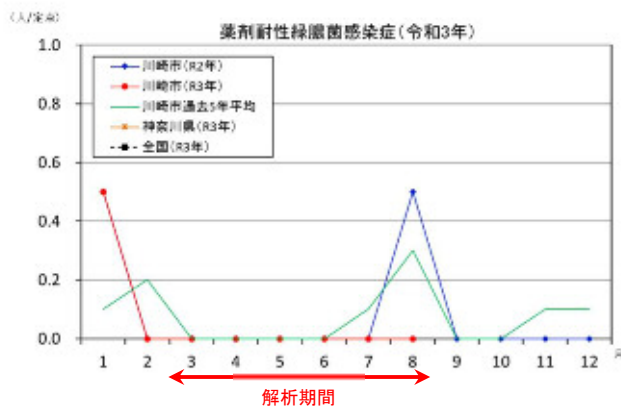




# 薬剤耐性緑膿菌感染症

## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。

